

みなさんが子どもだった頃、放課後は、どこで何をして遊びましたか？

私は、近所の公園や空き地でケイドロ、木登り、ローラースケート、ゴム跳びなどをして遊びました。その当時は、外に行けば、誰かが自然に集まって、時間を忘れて遊びほうけたものです。

では、今の子どもたちの遊びはどうなっているのでしょうか？

全国の小学 1 年生～中学 3 年生の子どもを持つ親(子どもと一緒に回答)900 人を対象に「普段、何をして遊んでいるか？」について聞いたところ、

小中学生全体の 1 位は「スマホ・携帯・タブレット・パソコン」45%という結果に。

そして小中学生別では以下の通りです。

・小学生 1 位「遊具遊びや鬼ごっこ・かくれんぼ」51.2%

・中学生 1 位「スマートフォン・ケータイ・タブレットなどネットワーク端末」45.3%、

小学生の遊びの傾向を見てみると、小学生 5～6 年生のタイミングで“外遊び”から「ゲーム・スマホ」に変化していることが分かりました。

遊び場所は、最も多いのが自宅(92.1%)で、次に公園、友達の家、ショッピングモール、学校の屋外の順になっています。親世代にあった空き地が消え、ショッピングモール、学童保育という回答が登場するなど、この調査から遊びの環境の変化が読みとれます。

◇参考「小中学生の“遊び”に関する意識調査」(2018 年 株式会社バンダイ)

2007 年より文部科学省と厚生労働省が連携して「放課後子どもプラン」として「地域社会の中で、放課後等に子ども達の安全で健やかな居場所づくり」を推進しており、放課後子供教室や放課後児童クラブが設置されています。

今月 3 日(火)、放課後児童クラブや放課後子ども教室関係者等を対象とした「放課後子ども総合プラン指導者合同研修会」を開催いたしました。講師は、こども環境デザイン研究所の代表 矢生 秀仁(やおい ひでひと)氏で、「子どもの遊びと育ちの環境づくり」と題してご指導いただきました。矢生氏は「子どもの遊びは、体を使ったものからボタン一つで変化する遊び、完成度の高い既製のおもちゃ、デジタルへと変化しており、創意工夫の余地が少ない。だからこそ、放課後等の時間には、昔からある遊びの魅力や、正解のない工夫する遊びとの出会いが求められている」と語りました。そして「子どもの遊びにおいて大切にしたいことは、失敗する・葛藤する・試行錯誤する経験である。それが、自分で自分を信じる、あるがままの自分を好きになる力につながる」とも語りました。また、研修会では、たくさんの造形遊びと、大人の関わり方について事例を交えて紹介いただきました。

もうすぐ学校は夏休みを迎えます。私たち大人は、引き続き子どもたちが、安全で安心な環境の中で自由に好きな遊びをとおして経験を重ね、自分の価値に出会い、自分の存在を大切にできる子どもに育てたいものです。

すべての子が「あ～楽しかった！！」と満足できる夏休みになりますように。【Ｙ】

○メルマガで取り上げて欲しい内容やご感想など、下記アドレスにお寄せいただければ嬉しく思います。(アドレス登録又は配信停止もこちらからどうぞ(^_^))

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

○メルマガのバックナンバーを当センターHPで閲覧することができます。

アドレスはこちら

「まなびネットいわて」(<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>) > 「発行物・刊行物」
> すこやかメルマガ

○「すこやかメール相談」このアドレスに返信することで子育てに関わる相談が受けられます。乳児から小中学校での困り事などお気軽にご相談ください。

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

【転送からの登録手順】

「このメルマガを友人・知人に転送する」→「受け取った方が登録用アドレスを確認する」
→「『メルマガ配信希望』と入力し送信する」→「配信登録完了！」(次回から直接、メルマガを受信することができます)

【紹介からの登録手順】

アドレス kosodatem@pref.iwate.jp をご紹介していただき、「配信希望」とメールすれば登録できることをお伝え願います。

これからも、どうぞよろしく申し上げます(^_^)/

【発行】

岩手県立生涯学習推進センター

025-0301 花巻市北湯口 2-82-13

TEL 0198-27-4555

URL:<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/> 「まなびネットいわて」で検索